



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 株式会社 昭文社

上場取引所 東

コード番号 9475 URL <http://www.mapple.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 茂夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 大野 真哉

TEL 03-3556-8171

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,497	2.9	538	△25.8	542	△27.0	522	△3.7
23年3月期第2四半期	7,285	0.7	725	257.5	742	251.4	542	388.1

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 403百万円 (△18.1%) 23年3月期第2四半期 492百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	31.41	—
23年3月期第2四半期	32.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	32,676	28,548	87.4	1,716.77
23年3月期	33,555	28,477	84.9	1,712.53

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 28,548百万円 23年3月期 28,477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,370	0.6	880	△48.1	840	△51.1	820	△19.7	49.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	17,307,750 株	23年3月期	17,307,750 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	678,764 株	23年3月期	678,764 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	16,628,986 株	23年3月期2Q	16,629,245 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3~4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）における我国の経済は、東日本大震災からの復旧により景気は回復基調で推移したものの、欧州経済の金融不安や円高の影響も大きく、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおける第2四半期連結累計期間の業績は、出版事業において期首当初は東日本大震災の影響による返品が大量に発生しましたが、その後ゴールデンウィーク頃よりレジャー自粛傾向が薄まったこともあり、書店店頭での実売も堅調に推移いたしました。また新刊商品の売上も順調に伸ばすことができました。一方で電子事業においては、簡易型カーナビゲーション（PND）向けアプリケーションソフト『マップルナビ』の売上がPND市場の拡大に伴い大幅に増加いたしました。これにより売上高合計は前年同期に比べ2.9%増加し、74億97百万円となりました。また損益面におきましては、出版事業における返品増加による影響に加え、電子事業における新サービス提供のための原価の増加やプロモーション費用の増加もあり、営業利益は前年同期に比べ1億87百万円（25.8%）減少し、5億38百万円となりました。それに伴い経常利益は、5億42百万円（前年同期比2億円、27.0%の減少）、四半期純利益は5億22百万円（前年同期比19百万円、3.7%の減少）となりました。

【セグメント別の状況】

〈電子事業〉

電子事業におきましては、カーナビゲーション市場におけるPNDの販売が好調に拡大したことに伴い、ナビゲーション事業におけるPND向けアプリケーションソフト『マップルナビ』の売上が大幅に増加いたしました。またスマートフォン用アプリとして従来の『ことりっぷアプリ』におけるラインナップの追加や新アプリ『マップルガイドナビ』『GOLFな日』に続き、自宅まで歩いて安全に帰るための支接地図アプリ『震災時帰宅支援マップ首都圏版』や東日本大震災の被災地での復旧・復興に役立つアプリ『東日本大震災 復興支接地図』の提供も開始いたしました。前期にあった地図データ提供の大型案件といった特殊要因がなくなったこともありましたが電子事業の売上高は、前年同期に比べ64百万円増加し、22億48百万円となりました（前年同期比2.9%増）。損益面におきましては、今期の当社グループの最優先課題でもあるスマートフォン向けアプリの開発やコンテンツ制作費用の負担が増加したものの、メンテナンス費用が下期にずれ込んだことに加え、『マップルナビ』の売上増加による増益要因が大きく寄与し、電子事業におけるセグメント利益は、前年同期と比べ1億56百万円（62.8%）増加し、4億4百万円となりました。

〈出版事業〉

出版事業におきましては、東日本大震災に伴う返品増加や広告売上の減収等がありましたが、ゴールデンウィーク以降の書店店頭での売上が堅調に推移したことに加え、好調な販売を続ける『工場見学』や『グルメガイド』『ぶらっと散歩コース』等の新シリーズにおけるラインナップの強化を図るとともに、新刊商品として人気ガイドブック『ことりっぷ』のお姉さんブランド、旅&街歩き情報誌『ことりっぷ iforte（アイフォルテ）』5点を出版したことにより売上が大きく伸びる結果となりました。これにより出版事業の売上高は52億85百万円と、前年同期に比べ1億54百万円（3.0%）増加いたしました。損益面におきましては、

新刊商品出版に伴う原価率の高騰や返品増加により売上原価が増加いたしました。また新刊商品のプロモーション費用の増加もあり、出版事業におけるセグメント利益は減少する結果となり、前年同期に比べ2億35百万円(22.9%)減少の7億92百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、326億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億79百万円(2.6%)減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金が8億48百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が6億34百万円、商品及び製品が5億60百万円、データベースが2億80百万円、投資有価証券が1億33百万円減少したことであります。負債合計は、41億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億49百万円(18.7%)減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が3億22百万円、短期借入金が1億25百万円、返品調整引当金が1億1百万円、退職給付引当金が1億92百万円減少したことであります。純資産においては、その他有価証券評価差額金が1億19百万円減少した一方で、利益剰余金が剰余金の配当があったものの四半期純利益により1億89百万円増加したことにより、純資産合計は70百万円(0.2%)増加し、285億48百万円となりました。

この結果、自己資本比率は87.4%と2.5ポイント改善しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物の残高は、87億24百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億49百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、16億56百万円の収入となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益が5億21百万円であったことに加え、仕入債務の減少額が3億22百万円、返品調整引当金の減少額が1億1百万円、退職給付引当金の減少額が1億92百万円あった一方で、売上債権の減少額が6億34百万円、減価償却費及びその他の償却費が6億19百万円、たな卸資産の減少額が5億99百万円あったことであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、2億33百万円の支出となりました。その主な要因は、無形固定資産の取得による支出が2億14百万円あったことであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、5億73百万円の支出となりました。その主な要因は、配当金の支払額が3億31百万円あったことに加え、短期借入金の純減額が1億25百万円、長期借入金の返済による支出が1億16百万円あったことであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、上記記載のように前年同期に比べ売上高は増加したものの、利益ベースでは下回る結果となっております。しかし当初予想と比較した場合、東日本大震災の影響による返品増加や書店店頭での実売不振が想定を下回ったことや新刊商品の売上が順調に推移したことにより、売上高は大きく予想を上回る結果となっております。(当初予想 売上高:67億70百万円) また損益面におきましても売上高の増加に加え、メンテナンス費用やプロモーション費用が下期にずれ込んだ影響もあり、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当初予想を大きく上回る結果となっております。(当初予想 営業利益:△1億90百万円、経常利益:△2億20百万円、四半期純利益:△2億30百万円)

しかし通期の業績予想におきましては、出版事業での新刊、シリーズ改訂に伴う返品増加

や電子事業での事業環境悪化による受注減少等により、売上高は伸び悩む見通しとなっております。また損益面におきましても上期に予定されていたメンテナンス費用やプロモーション費用が下期に計上されることや、スマートフォン関連への投資の増加もあり、利益金額は微増となる見込みです。これにより通期の連結業績は当初発表の予想を若干上回る水準にとどまるものと見込んでおります。

これにより通期の業績予想を以下の通り変更いたしました。

売上高 : 153 億 70 百万円 (従来予想 150 億 70 百万円)、
営業利益 : 8 億 80 百万円 (従来予想 6 億 40 百万円)、
経常利益 : 8 億 40 百万円 (従来予想 5 億 90 百万円)、
当期純利益 : 8 億 20 百万円 (従来予想 5 億 10 百万円)、

なお、業績の見通しにつきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因の一部である当社の事業におけるリスクについては、平成 23 年 6 月 29 日提出の当社の「第 52 期有価証券報告書(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)」に記載されておりますので、ご参照ください。

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,852,229	7,701,162
受取手形及び売掛金	4,050,063	3,415,821
有価証券	1,022,646	1,023,104
商品及び製品	1,873,721	1,313,389
仕掛品	619,064	584,224
原材料及び貯蔵品	8,656	4,761
繰延税金資産	532,807	545,681
その他	143,351	186,400
貸倒引当金	△3,655	△3,924
流動資産合計	15,098,884	14,770,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,085,618	2,999,790
土地	6,246,850	6,245,760
その他（純額）	253,780	233,154
有形固定資産合計	9,586,249	9,478,704
無形固定資産		
データベース	5,499,405	5,218,718
のれん	314,588	292,117
その他	795,317	818,128
無形固定資産合計	6,609,310	6,328,964
投資その他の資産		
投資有価証券	1,332,092	1,198,732
その他	1,314,900	1,286,941
貸倒引当金	△385,867	△387,454
投資その他の資産合計	2,261,126	2,098,219
固定資産合計	18,456,686	17,905,888
資産合計	33,555,570	32,676,508

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	949,775	627,761
短期借入金	986,033	860,831
1年内返済予定の長期借入金	222,364	188,602
未払法人税等	60,499	41,638
賞与引当金	371,174	391,102
返品調整引当金	807,164	705,481
受注損失引当金	371	869
災害損失引当金	99,200	87,851
その他	803,173	770,554
流動負債合計	4,299,755	3,674,691
固定負債		
長期借入金	188,542	105,582
繰延税金負債	106,112	91,523
退職給付引当金	312,487	120,369
役員退職慰労引当金	113,600	135,400
その他	57,497	850
固定負債合計	778,240	453,725
負債合計	5,077,996	4,128,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,903,870	9,903,870
資本剰余金	10,708,236	10,708,236
利益剰余金	8,234,432	8,424,109
自己株式	△524,661	△524,661
株主資本合計	28,321,876	28,511,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149,165	29,777
為替換算調整勘定	6,532	6,760
その他の包括利益累計額合計	155,697	36,537
純資産合計	28,477,574	28,548,091
負債純資産合計	33,555,570	32,676,508

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	7,285,075	7,497,394
売上原価	4,616,045	4,916,628
売上総利益	2,669,030	2,580,766
返品調整引当金繰入差額	△67,436	△101,683
差引売上総利益	2,736,466	2,682,449
販売費及び一般管理費	2,010,799	2,143,974
営業利益	725,666	538,474
営業外収益		
受取利息	3,133	2,248
受取配当金	9,491	9,930
受取賃貸料	12,805	8,958
保険配当金	4,028	3,880
投資有価証券割当益	12,720	—
その他	8,528	6,032
営業外収益合計	50,709	31,050
営業外費用		
支払利息	10,218	9,425
賃貸収入原価	19,377	16,943
持分法による投資損失	3,228	435
その他	1,101	694
営業外費用合計	33,925	27,498
経常利益	742,449	542,026
特別利益		
固定資産売却益	7,499	21
貸倒引当金戻入額	4,743	—
特別利益合計	12,242	21
特別損失		
固定資産売却損	645	19,429
固定資産除却損	486	70
投資有価証券評価損	199,063	—
会員権評価損	750	—
災害による損失	—	1,469
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,916	—
特別損失合計	202,862	20,969
税金等調整前四半期純利益	551,830	521,078
法人税、住民税及び事業税	11,515	11,696
法人税等調整額	△1,938	△12,874
法人税等合計	9,577	△1,178
少数株主損益調整前四半期純利益	542,252	522,256
四半期純利益	542,252	522,256

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	542,252	522,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,238	△119,388
為替換算調整勘定	△589	228
その他の包括利益合計	△49,827	△119,159
四半期包括利益	492,425	403,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	492,425	403,096
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	551,830	521,078
減価償却費及びその他の償却費	579,021	619,577
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	199,063	—
持分法による投資損益(△は益)	3,228	435
会員権評価損	750	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,312	1,856
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,883	19,927
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△67,436	△101,683
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	498
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△11,348
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△190,529	△192,118
受取利息及び受取配当金	△12,625	△12,178
受取賃貸料	△12,805	△8,958
支払利息	10,218	9,425
売上債権の増減額(△は増加)	854,401	634,242
たな卸資産の増減額(△は増加)	293,368	599,066
仕入債務の増減額(△は減少)	△470,587	△322,014
その他	△324,133	△82,584
小計	1,413,333	1,675,222
利息及び配当金の受取額	12,704	12,242
賃貸料の受取額	12,805	8,944
利息の支払額	△10,167	△9,307
法人税等の支払額	△25,271	△30,650
法人税等の還付額	11,337	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,414,740	1,656,451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△38,152	△53,538
有形固定資産の売却による収入	8,142	1,745
無形固定資産の取得による支出	△444,621	△214,481
投資有価証券の取得による支出	△608	△617
貸付金の回収による収入	33,646	33,328
投資活動によるキャッシュ・フロー	△441,593	△233,565
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	△125,202
長期借入金の返済による支出	△137,326	△116,722
自己株式の取得による支出	△83	—
配当金の支払額	△330,777	△331,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	△368,186	△573,495
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	604,959	849,391
現金及び現金同等物の期首残高	6,966,335	7,874,875
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,571,295	8,724,266

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	出版事業	電子事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,130,933	2,154,142	7,285,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	30,109	30,116
計	5,130,940	2,184,251	7,315,191
セグメント利益	1,027,351	248,647	1,275,998

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,275,998
セグメント間取引消去	23,807
のれんの償却額	△29,703
全社費用(注)	△544,436
四半期連結損益計算書の営業利益	725,666

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	出版事業	電子事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,285,448	2,211,946	7,497,394
セグメント間の内部売上高 又は振替高	128	36,701	36,829
計	5,285,577	2,248,647	7,534,224
セグメント利益	792,218	404,855	1,197,073

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,197,073
セグメント間取引消去	29,866
のれんの償却額	△22,470
全社費用(注)	△665,994
四半期連結損益計算書の営業利益	538,474

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。